

12月議会質問の概要です

《保育の問題とあり方について》

初めに、民営化された緑町保育所について、民営化の際に法人が公立の保育を引き継ぐと約束したにもかかわらず、未だに保育士が確保されていない、園庭に遊具が設置されない、散歩が数回しか実施されていない、年間行事が示されないなど約束通りに実行されていないのは市の指導に問題があるのではないかと質しました。市は、法人に対して保護者への説明責任を果たすよう指導しているが、保護者の納得には至っていないという認識を示すとともに、引き続き粘り強く指導をしていくと答えました。

《保育所の民営化について》

老朽化した小深保育所と小倉台保育所の建て替えは、公立で行うことこそ子育て支援の拠点としての役割が果たせるのではないかと質したのに対し、市は認可園として果たすべき役割に公立と民間では差がないと答え、公立で行うとの回答を避けました。

《子どもの安全について》

大津市の事故の後も散歩中の事故が続いており、子どもの命を守るための安全対策はスピード感をもって取り組むよう求めたのに対し、市は合同点検を行った結果、車止め、ガードパイプ、路面標示などの設置や散歩経路の変更などを行うと答えました。

《給食の副食材料費の実費徴収について》

幼児教育・保育の無償化により、3歳以上児の保育料は無料になったものの、副食材料費は実費徴収となりました。他の自治体では自治体独自で補助をして無償化を実現していることなどを取り上げ、実費徴収をやめるよう求めましたが、市は「国が決めたこと。市独自の負担軽減はしない」と子育て世代の願いに背く回答を行いました。

《災害対策について》

災害時の情報伝達について今回の台風15号等の教訓をどう生かすのかについては、情報伝達手段の確保に努めるとともに、町内自治会や自主防災組織、消防団等と連携したマンパワーによる情報伝達体制の強化に取り組むと答えました。

《避難所について》

避難所については、バリアフリー化、プライバシーの保護や空調設備の整備、寝具の充実、要配慮者の場所の確保など人権が守られる環境改善を求めました。市は避難所における良好な生活環境を確保するため、他都市の好事例を参考に取り組みを進めていくと回答しました。

避難所の食事については、栄養価があり健康に過ごせるための食事の提供が必要だと求めると、温かい食事や栄養バランスの取れた食事を提供できるように努めたいと答えました。

公民館の指定管理者と避難所担当職員の連絡・連携体制や避難所運営委員会の機能発揮についても質問し、円滑に情報共有ができるよう体制を整備し、避難所の開設・運営がスムーズにできるように努めていくと回答が得られました。